市民をぎまんした 市議会

大牟田市議会は九月市議会定例会（本会議）に於て問題となり、前議会では保留となった市議三名の一七八万円の退職金は予備費に繰入られていたが、市民を欺瞞した表彰規程という美名にかくれ、九月二十七日の市会は即ち同日午後二時三五分議長の開会宣言に先ず公本委員の件、固定資産評価委員選出の件に続いて四号議案として、表彰規定（市会議員退職金）の件が提案され、総務委員長より委員会の経過並提案理由を説明した。総務委員会としては退職金という事を意味せず表彰規程による事とし、その方法に就て前後四回の総務委員会で検討審議併せて隣下各都市並隣接市町村等の退職金に関し調査した結果、各都市の情況、慣例的なものあり又社会通念としても当時困難な市政に貢献された功績等も考えて、議長七万円、副議長六万円、一般議員五万円として、四年以前に議員をされ記念品を支給されていなかった経緯議員に対しては二年を増す毎に一万二千五百円を加算することとした。但しこの規程は前議員のみの表彰で今期の議員には適用しないし、前例ともしない事

問に入つた、主なる質問は次の通り

吉冨議員（三奨会所属）　財政面を考えてあるか、市民が納得されるか否か、追加の一万二千五百円に就て

柳議員（三鉱闘革新クラブ）　現議員のみで今後は別途考えるといはれるが、それ迄の討議の経過に就て

英議員　一七八万円の支出をしても大牟田市財政運営面に支障はないか

堀議員　即期議会の締過に就て説明（江崎議長説明）

柿議員（三鉱闘革新クラブ）　総務委員長の報告では退職金五万円、議長七万円、副議長六万円、一般議員五万円として提出した。議員は以前は名誉職より地方自治法により年間多くの日数と任期の関係上、全国市会議長会議でも退職金は出すべきであろうという事であり、昭和二十二年当時と今日の貨幣価値の相違は更員給料を見ましても一〇〇倍―二〇倍となり、議員俸給は二千五百円程度で、今日に直せば二万八千円程度となると思う。予算は市会で予備費に繰入れている。前期の市会で否決されていれば自治法に依つて支給流用は出来ないが否決で

數の暴力で押切ろうる

最後まで頑張つた勞組議員

万、六万、七万が社会通念と言はれたが、私の社会通念は例えば会社の場合は四年勤めた退職金であれば二、〇〇〇円―三、〇〇〇円程度と思うがもう一度社会通念に就て説明願ひたい（意見も含む）

松本議員（三鉱革新クラブ）　前期の議員が決められなかったのは全国的な市民の反論として巻き起つたので前議会では決定出来なかったと思う、退職金を記念品とし、すりかえたたけである。ので私はあり迄反対である

堀議員　前議員は市会議員選挙前であり、他都市云々もあったが現品で支給すべきであり、木杯か銀杯かでやってもひたい。四年間市に貢献したという事で後援会も賛成記念品でやれ、すりかえられた感なる事ではすべきできない

一時休会、再会午後六時一〇分、

傍聴者は午後七時四五分迄もみにもみ、遂に革新クラブ（労組、社会党）の七名の議員が最後迄対抗をもつて総務委員会提案通り可決された。

全國勞働衛生週間

自10月7日　至10月7日

繰出す街頭宣傳隊

平和推進に大衆動員

福岡県平和推進国民会議では各種民主政党の議員諸氏が第一線に出て活動の協力を得て十月一日より緑下を七地区に分け平和週間街頭宣傳スケジュールを組み、街頭演説、社説法の外に平和講演会を開き天幕動員を図り、高橋、奥田、奪し人類の良心に訴え平和と独立の基本條件の実現を期す事とした。

強力なる緑下の平和推進運動を展開し反動吉田内閣の政策に対する痛烈な批判を行うと共に、非武装高橋正雄先生、参議院議員吉田法晴氏、日農県中村啓蒙部が来牟し表彰会はいくらか、又その財源はどこからもつてくるか、共議長吉井正次氏の討議の経過に就て

英議員　一七八万円の支出をしても大牟田市財政運営面に支障はないか

堀議員　即期議会の締過に就て説明（江崎議長説明）

柿議員（三鉱闘革新クラブ）　現議員のみで今後は別途考えるといはれるが、それ迄